

第3学年 体育科（保健）

【体の清潔について課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える姿】をイメージした授業

石井小 阿部 理佳

1 本單元における夢中になって学ぶ姿

時間	場面	学習内容(夢中になって学んでいる姿)	資質・能力等
1	見通す	・健康な状態について考えている。	・健康な状態は、主体の要因と周囲の環境の要因が関わっていることを理解している。(知・技) ・健康の大切さに気付き、毎日の生活と健康についての学習に進んで取り組もうとしている。(態)
2	考える	・健康に過ごすには、体の清潔を保つ大切さを確認し、体を清潔に保つために自分でできることを考えている。	・健康の保持増進には、体の清潔を保つことの重要性を理解している。(知・技) ・体を清潔に保つために自分でできることを考えている。(思・判・表)
3	考える	・健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和が大切であることを確認し、自分の生活を振り返り、課題を見付け、解決策を考えている。	・健康の保持増進には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要であることを理解している。(知・技) ・自分の生活を振り返りながら、よりよい生活の仕方について考えている。(思・判・表)
4	考える	・健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整える必要があることを理解している。	・健康の保持増進には、明るさの調節、換気などの生活環境を整える必要があることを理解している。(知・技)

2 本時における研究の視点

視点I【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

手洗い実験で手の汚れを可視化することで、清潔に保つ大切さの意識を高める。

○ ブラックライトによって青白く光ったところを記録させ、水だけでは汚れがよく落ちないことに気付くようにする。

<手洗い実験の感想を発表する。>

- ・ ただ、水で洗っただけではだめなことに気付きました。石けんだと水で洗った感じと比べて、菌がよくとれていたことに気付きました。
- ・ 自分では手洗いバッチリと思ったけど、まだ見えない菌があり、もうちょっとしっかり洗いたいと思いました。
- ・ アルコールをしていたからきれいだと思っていた。こんなに汚いと思わなかった。

<手や体を洗う理由を考える。>

T: 手や体はどうして洗うのか考えてみましょう。

C: バイ菌や汚いものをなくすために洗う。

C: バイ菌が体に住み着いたりすると大変だから。

C: 汚い手で食べると病気になったりするから。

視点II【学びの連続性につながる振り返り】

自分の生活と関連付ける設問を設定したワークシートの工夫

<振り返りの視点>

- ① 清潔を保つために自分でできること
- ② 分かったこと

① 清潔を保つために自分でできること

<ワークシートの設問を学校と家庭でできるところに分けた。>

【学校でできること】

- ・ 手をしっかり洗っていたので、これからもしっかり石けんで手を洗う。
- ・ 手洗いうがいをし、手を洗うときはいつもより長く洗う。

【家庭でできること】

- ・ 髪の毛をしっかりと洗っていたけれど、菌がついているからもっとしっかり洗う。
- ・ 服を替える。お風呂に入る。
- ・ おうちでもしっかりと石けんで手を洗いたいです。うがいもしっかりやっていきたいです。

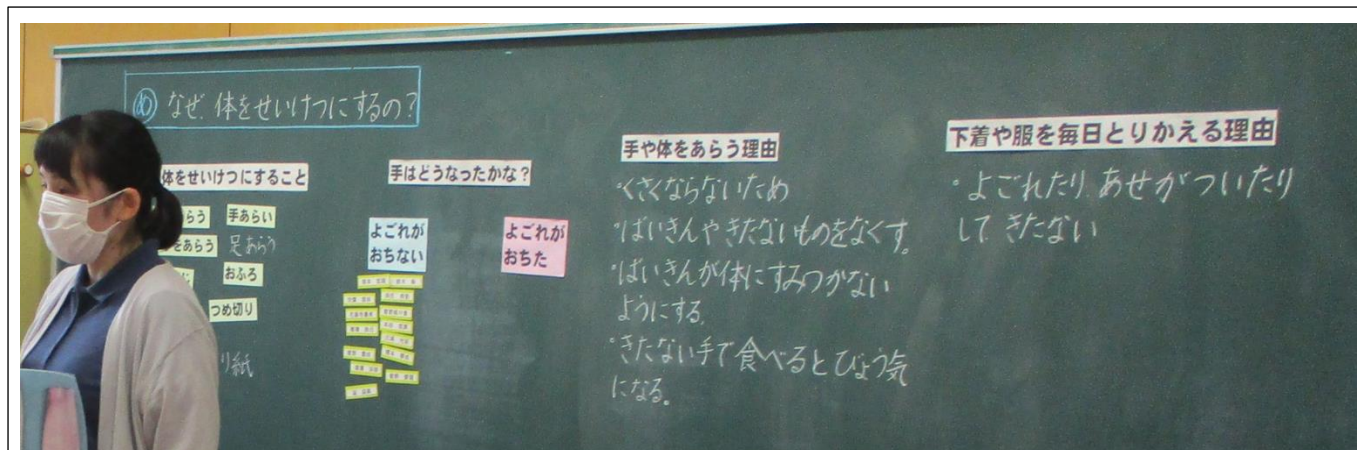
② 分かったこと

<児童の振り返りから>

- ・ もっといっぱい手を洗いたいです。いつもOKだと思っていたら、まだまだ汚れがあると分かりました。
- ・ なぜ、体とかを清潔にするのかなと不思議に思っていて、当たり前だと思っていたけど、その意味は病気にならないためと知ったので嬉しかったです。
- ・ 体を清潔にするのは、病気にならないためだと分かりました。これから手や体をきれいに洗いたいです。

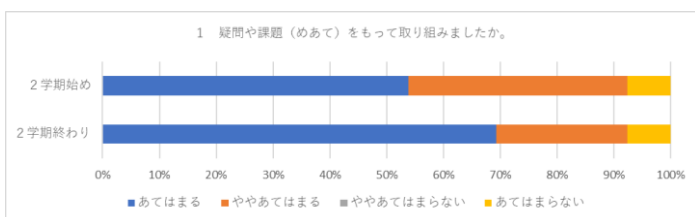


★板書を創る【本時のねらいに基づいた板書案の作成】

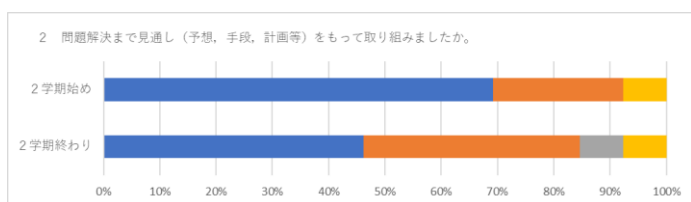


3 アンケートの結果から

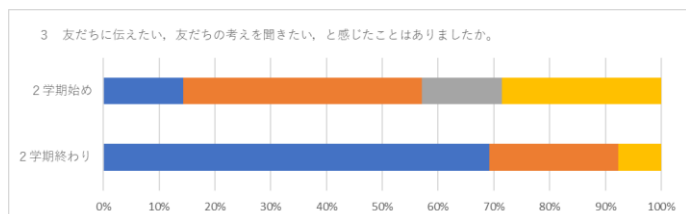
① 関心・意欲，課題意識



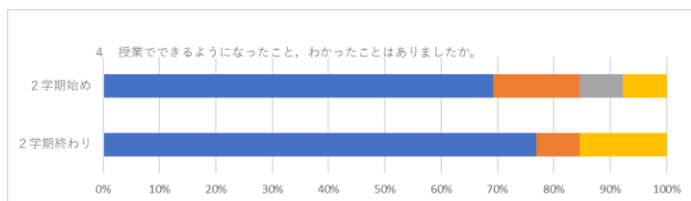
② 見通し



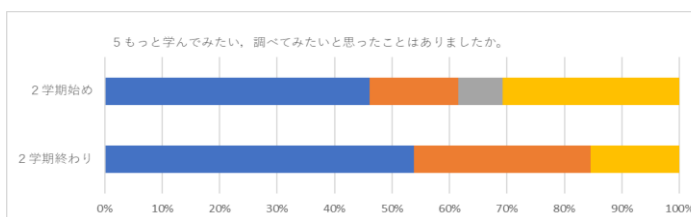
③ 話し合い・学び合い（協働の学び）



④ 振り返り



⑤ 新たな学びへ（学びの連続性）



4 考察【○成果 ●課題と改善策】

【視点Ⅰ】

○ 手洗いの実験では，水だけでは汚れが落ちていないことに驚く姿が見られた。自らの手の汚れを可視化したことで，目に見えない汚れを意識することができ，本時の学習を自分事として捉えることができた。

● 手の清潔から体の清潔に考えを広げることができなかった。児童は手の汚れが体に入ることは理解していたので，「手だけ洗っていれば清潔だね」など体の清潔について目を向けさせる問い返しがあればよかった。

● アンケート結果②から，実験の結果を予想した理由を考えるなど見通しをもたせるための手立てが必要であった。

【視点Ⅱ】

○ 清潔を保つために自分でできることには，これからも石けんを使って手を洗う，服を替える，体をきれいにするなどの記述があり，健康な生活を送るための実践意欲を高めることができた。

● ワークシートの設問を学校と家庭でできることに分けたが，家庭でできることを具体的に記述している児童が少なかった。一日の生活のながれをイメージしながら，起床時，登校後，運動をした後，食事前，帰宅後，入浴時など具体的な生活場면을提示する必要がある。

【その他】

・ 授業後に手洗いチェックに訪れた児童はいたが，実践を継続できる児童は少ない。実践の振り返りを自ら記録させることで継続できるようにしたい。

実際の指導案はこちらへ